

1.法人運営事業

1.理事会(5回)

- 1.平成21年4月15日(水)・・・福祉会館 第2会議室
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会正副会長の互選について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会評議員の選任について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会各種委員会委員の選任について

- 2.平成21年5月22日(金)・・・福祉会館 第2会議室
 - ・専決処分の報告について
 - ・平成20年度事業報告の認定について
 - ・平成20年度決算の認定について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会の常勤役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会定款の一部改正について

- 3.平成21年9月11日(金)・・・福祉会館 第2会議室
 - ・平成21年度一般会計9月補正予算について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会定款の一部改正について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会事務局の組織等に関する規程の一部を改正する規程について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会総合企画委員会設置規程の一部を改正する規程について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会部設置規程の廃止について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会顕彰者の選考について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会評議員の選任について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会各種委員会委員の選任について

- 4.平成21年12月11日(金)・・・福祉会館 第2会議室
 - ・平成21年度一般会計12月補正予算について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会の常勤役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程について

- 5.平成22年3月19日(金)・・・福祉会館 第2会議室
 - ・平成21年度一般会計3月補正予算について
 - ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程について
 - ・平成22年度事業計画(案)について
 - ・平成22年度一般会計当初予算(案)について

2.正副会長会議(0回)

重要議題が無いため、開催せず

3. 監事会（1回）

平成21年5月14日（木）・・・福祉会館 第2会議室

- ・平成20年度事業報告の監査
- ・平成20年度決算書類の監査

4. 評議員会（4回）

1. 平成21年5月29日（金）・・・勤労会館 中会議室

- ・平成20年度事業報告の承認について
- ・平成20年度決算の承認について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会定款の一部改正について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会の常勤役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会監事の選任について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会理事の選任について

2. 平成21年9月18日（金）・・・勤労会館 中会議室

- ・平成21年度一般会計9月補正予算について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会定款の一部改正について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会事務局の組織等に関する規程の一部を改正する規程について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会総合企画委員会設置規程の一部を改正する規程について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会部設置規程の廃止について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会理事の選任について

3. 平成21年12月18日（金）・・・勤労会館 中会議室

- ・平成21年度一般会計12月補正予算について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会の常勤役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程について

4. 平成22年3月26日（金）・・・勤労会館 中会議室

- ・平成21年度一般会計3月補正予算について
- ・社会福祉法人平塚市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程について
- ・平成22年度事業計画（案）について
- ・平成22年度一般会計当初予算（案）について

5. 計画策定・進行及び各種委員会

各種委員会を次のとおり開催した。

1. 総合企画委員会（委員 11人）

平成21年7月31日（金） 通算第33回

・広報委員会報告

・平塚市地域福祉活動計画の進行管理について

平成22年2月4日（木） 通算第34回

・平塚市地域福祉活動計画の進行管理（事業運営評価）について

・その他

2. 広報委員会（委員 10人）

・第104号「福祉だよりひらつか」の内容について

開催日 6月2日、6月16日

・第105号「福祉だよりひらつか」の内容について

開催日 9月24日、10月16日

・第106号「福祉だよりひらつか」の内容について

開催日 1月18日、2月9日

3. イベント実行委員会（委員 11人）

開催日 7月31日、10月8日、2月4日

6. 研修事業

1. 視察受入れ

（1）福祉部及び健康・子ども部新任職員施設見学5/15 26人

2. 実習受入れ

（1）社会福祉援助技術現場実習

・神奈川社会福祉専門学校 2人（10日間）

・東海大学 2人（12日間）

3. 市社協職員対象自主研修

（1）地域福祉活動計画説明会 96人（4日間）

（福祉会館：8/19.21 43人 栗原ホーム：8/26.31 53人）

（2）認知症サポーター養成講座 39人（2日間）

（栗原ホーム：11/16 22人 11/19 17人）

7. 後援・協賛事業

1. 次の事業に、後援・協賛した。 41件

1	吉川かおり氏後援会 「ハンディを持つ兄弟への支援について考えよう」	21	福祉芸能の集い第18回チャリティー公演
2	高次脳機能障害講演 & シンポジウム	22	2009浅間祭
3	第55回全国盲女性研修大会(神奈川大会)	23	第58回神奈川県社会福祉大会
4	「いのちの作法」上映会	24	第38回ゆめクラブ湘南平塚スポーツ大会
5	ユースボランティア2009	25	フラ・チャリティーinひらつか
6	第30回ともしびポスター・第23回ともしび絵本コンテスト	26	第33回燐の会
7	きょうだい支援交流会Part1 「きょうだい思いの子育てについて語ろう」	27	KANAGAWA AUTUMN FESTIVAL 2009
8	舞踊愛好会チャリティー大会	28	大門三郎新春チャリティーコンサート
9	ゆめかながわシニアフェスタ かながわシニアスポーツフェスタ 2009	29	第4回チャリティーひまわりカラオケ大会
10	24時間テレビ平塚地区第23回街頭募金	30	映画「破片のきらめき」上映
11	里親講座・里親制度相談コーナー	31	「知的障がい者の地域生活を考える」勉強会
12	第12回神奈川県電動車椅子サッカー大会	32	第32回夢クラブ湘南平塚のつどい
13	第45回ゆめクラブ湘南平塚福祉大会	33	フォト四季写真展
14	記録映画「いのちの作法～沢内(生命行政)を継ぐ者たち～」	34	第13回ドリームカップ
15	友情列車「湘南ひまわり号」	35	第10回「湘南ひらつかマジシャンズ」発表会
16	湘南平塚福祉芸能の祭典チャリティー公演	36	YES, 愛DO! 音楽祭
17	第14回福祉芸能チャリティー公演	37	家庭倫理講演会
18	「日々の介護が楽になる!」設立10年目記念セミナー	38	映画「いのちの山河」上映会
19	第3回平塚地区自閉症児・者作品展	39	講演会と交流会「障害や介護の悩み・疑問を みんなで考えよう! 秦野市の事例に学ぶ」
20	市民公開講座 & 無料相談会	40	第12回チャリティーコンサート
		41	第25回平塚愛唱会

8. 事故発生報告 合計 39件

1. 提供サービスにおけるもの 28件

老人福祉センター関係 3件

・利用者体調不良による救急車要請 3件

栗原ホーム関係(地域包括支援センター含) 25件(うち救急車要請3件)

・訪問介護活動先で利用者の体調不良等による救急搬送 2件

・訪問介護活動時間の間違い 1件

・訪問介護活動先での器物破損等 3件

・通所介護活動中利用者の体調不良 2件

・通所介護活動中利用者の怪我等 10件

・通所介護活動中利用者の物品等破損 4件

・通所介護送迎中の車両事故等 2件

・配食サービスにて異物混入 1件

2. 業務にかかわるもの 10件

・職員細菌検査によるサルモネラ保菌者検出 1件

・訪問介護活動中の職員の盗難被害	2件
・訪問介護活動移動中のバス内での事故	1件
・配食活動中の車両事故	1件
・社協車輛の破損被害	1件
・福祉会館外倉庫ドアの破損	1件
・業務中による職員の怪我	3件
3. その他	1件
・身障事務室利用者体調急変による救急搬送	1件

9. 苦情処理 合計 19件

福祉サービス利用支援グループ関係	1件
・ファミリー・サポート・センター職員の対応について	1件
施設管理グループ関係	3件
・七国荘における入浴利用について	1件
・福祉会館駐輪場においてのバンク等悪戯	1件
・業者より会館のお茶納入について	1件
栗原ホームグループ関係	15件
・通所介護の利用者から送迎中の対応について	1件
・通所介護の利用者から職員の対応について	2件
・通所介護の利用者から入浴タオルの間違い等について	2件
・通所介護の利用者から利用者間の対応について	2件
・訪問介護の利用者からヘルパー等の対応について	6件
・配食サービスの利用者から異物混入について	1件
・配食サービスの利用者から職員の対応について	1件

10. 情報公開 申請件数2件（公開件数1件 20年度から継続1件）

理事会・評議員会議事録過去5年間分等の文書公開申請
（前年度から継続、平成21年4月13日取り下げ）
平成20年度介護保険事業者（平塚栗原ホーム）事故報告書（一部公開）

2. 広報啓発事業

1. 福祉だよりひらつか発行

市民に社協事業を始め地区社協、ボランティア、福祉施設、福祉団体等の活動状況を紹介して地域福祉及びボランティア活動の推進、育成等を図る広報紙を年3回発行した。

	発行日	発行部数
第104号	7月1日	85,500部
第105号	11月1日	85,500部
第106号	3月1日	85,500部

2. 啓発宣伝事業

1. 福祉イベントの開催

平塚市社会福祉協議会の基本理念である『誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりの推進』をメインテーマとして、「社会福祉法」で明確化された『地域における社会福祉の推進を図る』ことを目的に開催する。具体的には、総合公園にて「福祉フェスティバル」を実施した。また、福祉会館及び中央公民館にて「福祉まつり」を開催し、福祉に対する理解と、参加意識の高揚を図り、さらに、多くの市民に社会福祉協議会の事業や役割を広く周知することを目的に実施した。

(1) 福祉フェスティバル(ともしび運動推進事業) 969,846円

市民一人ひとりに福祉の心が根づくよう『誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり』をテーマにさらなる広がりとお互いに支え合い参加する福祉の実現に向け、健康フェスティバルと同時開催した。

共催 第33回心身障がい児者レクリエーション大会

開催日 10月25日(日)

会場 平塚市総合公園内平塚のはらっぱ

参加者 約8,000人

内容

- ・ミニ運動会(パン食い競走、ものあて競走、視覚障がい体験ウォーク、たまいれ、障がい物競走、車いす体験ウォーク)
- ・手作りゾーン(老人クラブ連合会による竹細工、わら細工、手芸品の手作り体験、地域作業所連絡会等による手作り体験、地域作業所自主製品販売)
- ・ふれあいゾーン(子育て情報コーナー、里親制度の紹介、母子福祉なでしこ会による母(父)と子の交流コーナー、障がい者団体連合会による売店)
- ・ふくし学べるゾーン(ともしびコーナー、ボランティア情報コーナー、ボランティア福祉体験コーナー、地域福祉コーナー、補助犬ふれあいコーナー)
- ・とくとくゾーン(福祉バザーの実施)
- ・ウェルカムゾーン(抽選会)
- ・特別参加企画(補助犬デモンストレーション2回)

(2) 福祉まつり 1,170,449円

福祉情報の提供・啓発、ノーマライゼーションの普及、福祉施設の紹介・地域作業所自主事業製品の販路拡大、世代や親子・障がいの有無にもかかわらない交流、生きがいの場の提供、社協の活動事業や役割紹介などを目的に福祉まつりを実施した。

開催日 12月3日(木)～7日(月)*福祉まつりは5日(土)まで

会場 福祉会館、中央公民館(ギャラリー、大ホール)

参加者 4,281人(うち、社会福祉を考えるつどい262人)

内容

・社会福祉展部門
227,089円

市内社会福祉施設の紹介、作品の展示を行った。展示用パネルについては、地域の福祉まつりや公民館まつりなどに貸出した。

出展施設：高齢施設 7 ・ケアセンター 8
障がい施設 17 ・保育園 31

合計63施設

作品出店数：高齢施設 173 ・ケアセンター344

障がい施設 341 ・ 保育園 62

合計 920 作品

- 来場者数：延べ794人（うち25福祉施設、2団体）
- ・ 福祉会館まつり部門 福祉会館において活動しているサークル等の作品展示、催物、カラオケ大会、お茶会など成果の発表及び市内地域作業所の自主製品の即売、模擬店、体験コーナー等を実施した。
- | | | | |
|------|------|---------------|------|
| 展示関係 | 福祉会館 | 延べ出展人員 | 383人 |
| | | 延べ出展数 | 963点 |
| 催物関係 | 福祉会館 | 演芸出演人員 | 245人 |
| | | カラオケ大会参加者人員 | 116人 |
| | | 体験コーナー参加者延べ人数 | 48人 |
| | | お茶会参加者人数 | 200人 |
| | | ミニコンサート参加者人数 | 50人 |
- ・ 社会福祉を
考えるつどい部門 永年にわたる社会福祉への功績を称えるため、平塚市・平塚市社会福祉協議会の共催により社会福祉関係功労者の表彰式と社会福祉の啓発を目的に、障がい者週間キャンペーンとの共催で公演会を12月5日(土)に実施した。
- 第1部 表彰式典
第2部 障がい者週間キャンペーン共催特別公演
演奏者 チームアウローラ 天野 亨 他2名
題名 『チームアウローラコンサート
音楽に心をのせて』
- ・ 相談会部門 高齢者住まい探し相談会 12月3日 3組 8人
成年後見・遺言相談会 12月3～5日 6組 16人

2. ともしび運動推進事業

- (1) 障がい者週間キャンペーン 114,000円
障がい者に対する理解並びにともしび運動啓発のため、平塚市障がい者団体連合会と協力し、福祉を考えるつどいと共催で12月5日(土)に公演会を実施した。
また、福祉を考えるつどい及び福祉まつりの会場や地域作業所連絡会の販売スペース(平塚市役所)にてキャンペーン用リーフレットの配布を行った。
- (2) 「ふたごみつご達のひろば」
「ふたごみつご達のひろば」については、P14に掲載 50,000円
- (3) 車椅子バスケットボール体験事業 100,000円
第32回車椅子バスケットボール秋季大会とのコラボレーション企画として、車椅子バスケット選手の指導で市内の小学生ミニバスケの選手、中学生バスケの選手を中心に、市民を対象に午前と午後の2部に分けて体験講座を実施した。
- | | |
|-----|--------------------------------------|
| 実施日 | 10月4日(日) |
| 場所 | 馬入ふれあい公園ひらつかアリーナ |
| 参加者 | 121人
(ミニバスケ9チーム52名、中学校3校60名、一般9名) |
| 講師 | 車椅子バスケ選手8名 |
| 内容 | 車椅子バスケット体験(講話・実技・試合) |
- (4) あそびの森 I N ひらつかアリーナ

- 3 . 市社協ホームページ「ひらつか社協どっとねっと」の運営
<http://www.hiratsukasyakyo.jp/>

3 . 顕彰 (敬称略)

- 1 . 社会福祉を考えるつどい 2 0 0 9 (1 2 月 5 日 : 中央公民館大ホール) の席上、次の方々が顕彰された。

(1) 平塚市長表彰 (3 人)

自立更生者

・小巻 みち子

更生援護功労者

・稲垣 伊松 ・細川 春美

(2) 平塚市社会福祉協議会会長表彰 (2 8 人)

地区社会福祉協議会

・高橋 政江 ・城田 静枝 ・阿部 ケイ子 ・城田 静子 ・増田 恵子

民生委員児童委員

・出縄 宣佳 ・井口 忠 ・山田 信子 ・井上 宣子 ・渡邊 佳代子

・齋藤 治一 ・袋瀬 宏 ・金井 サト子 ・安藝 洋子 ・岩崎 悦子

・古尾谷 正三 ・古澤 攝子 ・市川 善雄 ・遠藤 宏信 ・竹内 正雄

・浜 静子 ・宮田 千鶴子

保護司

・小林 正道 ・中村 久松 ・鬼島 健一郎 ・飯塚 紀一

福祉団体

・打田 芳恵 ・小賀 六郎

(3) 平塚市社会福祉協議会会長感謝 (5 7 人)

地区社会福祉協議会

・松原 以登子 ・白田 照乃 ・宮川 昭子 ・庄司 昭子 ・永田 恵津子

・杉山 喜一 ・河野 広子 ・金子 弘美 ・三浦 八千代 ・下山 ふみ子

・馬鳥 敦子 ・原田 晶子 ・高田橋 春美 ・神代 和子 ・相原 雄作

・鈴木 克司 ・佐々木 八千代 ・二見 雅康 ・鈴木 功 ・日下 雅文

・中林 久江 ・齋藤 靖子 ・深石 節子 ・露木 知恵子 ・小林 アイ子

・久保田 美恵 ・土屋 美年子 ・川手 十芽男 ・勝田 孝子 ・川崎 洋子

・柿 洋行 ・山崎 清子 ・沼田 典之 ・田中 のぶ子 ・中浦 洋子

・藤田 清美 ・品川 直美 ・市川 和江 ・柳川 智子 ・大場 容子

・大澤 マサ子 ・森 アサ子 ・二挺木 信子 ・手嶋 鈴美 ・大村 悦子

・森口 恵子 ・本間 豊子 ・坂田 恭子 ・塩坂 優子 ・鈴木 喜子

ボランティア、福祉団体

・長島 義久 ・馬鳥 巧 ・望月 等 ・只埜 幸子 ・熊澤 秀子

・島津 昭一 ・坂田 洋子

2. 第58回神奈川県社会福祉大会(10月15日:県立音楽堂)の席上、次の方々が顕彰された。

(1) 神奈川県社会福祉協議会会長表彰(4人)

民生委員児童委員

- ・出縄 宣佳 ・井口 忠 ・山田 信子 ・井上 宣子 ・渡邊 佳代子
- ・齋藤 治一 ・袋瀬 宏 ・金井 サト子 ・安藝 洋子 ・岩崎 悦子
- ・古尾谷 正三 ・古澤 攝子 ・市川 善雄 ・遠藤 宏信 ・竹内 正雄
- ・浜 静子 ・宮田 千鶴子

保護司

- ・伊藤 公明 ・大山 岩彦 ・小林 昇三 ・小林 正道 ・中村 久松
- ・鬼島 健一郎 ・飯塚 紀一

社会福祉施設従事者

- ・内藤 信也 ・佐藤 光子 ・石垣 佳孝 ・三浦 昌弘 ・松田 健二
- ・椎名 秀一 ・太田 英男 ・米山 由美子 ・杉浦 薫夫 ・米山 健二
- ・古尾谷 知恵子 ・小笠原 祭子 ・種村 たけ子 ・根本 志津代
- ・蝶谷 さゆり ・樋口 豊 ・小峰 和代 ・飯田 みつ江 ・原 美幸

ボランティア

- ・高田 風寿

(2) 神奈川県社会福祉協議会会長感謝(4人)

社会福祉施設従事者

- ・久保寺 一男 ・竹澤 光史 ・岩川 延子 ・大貫 美也子

(3) 神奈川県知事表彰(3人)

ボランティア

- ・二宮 由美 ・原 みな子

社会福祉施設従事者

- ・岩川 延子

(4) 共同募金運動功労者表彰及び感謝(8人、1団体)

神奈川県知事表彰

- ・小川 詔三

神奈川県共同募金会会長感謝(個人)

- ・島津 隆子 ・小泉 和正 ・小泉 政夫 ・柳川 幸市
- ・黒滝 哲二郎 ・楠森 一清 ・中村 正賢

神奈川県共同募金会会長感謝(団体)

- ・神奈川県立 大原高等学校 吹奏楽部

3. 平成21年度全国社会福祉大会(11月20日:日比谷公会堂)の席上、次の方が顕彰された。

(1) 厚生労働大臣表彰(1名)

共同募金運動奉仕功労者

- ・長谷川 芳久

3. 地域福祉推進事業

1. 会員と賛助会員

1. 会員と会費

会員区分		会員数	金額(円)
1号会員	地区社会福祉協議会	23	158,200
2号会員	自治会連絡協議会	1	5,000
3号会員	地区民生委員児童委員協議会	23	80,000
4号会員	保護司会	1	13,000
5号会員	社会福祉施設	136	376,000
	(法人)	(30)	(87,000)
	(施設)	(80)	(237,000)
	(地域作業所)	(26)	(52,000)
6号会員	当事者団体	14	42,000
7号会員	社会福祉活動団体	14	42,000
8号会員	社会福祉協力団体	2	6,000
9号会員	社会福祉に関する学識経験者	2	-
10号会員	社会福祉に関係ある行政機関	3	-
合計		219 件	722,200

* 年度途中加入の1法人1施設は会費が免除だったため会員数のみ含む。

2. 賛助会員と賛助会費

2.3 地区(300円未満の協力会員を含む)

賛助会員会費	63,182件	19,953,059円
(うち、特別賛助会員会費(1口5,000円)	65件	411,500円)
地区還元額(75%)		14,964,799円

3. 企業賛助会員と会費

企業賛助会員会費(市内の企業、事業所等の会員)

1口	5,000円	111社	660,000円
----	--------	------	----------

2. 地区社協会長(地区社協部会)役員会及び連絡会議(3回)

1. 役員会

(1) 平成21年6月15日(月)

- ・ 監査について(監事会も兼ねる)
- ・ 平成20年度地区社協部会事業報告・決算(案)について
- ・ 平成21年度事業計画(案)・予算(案)について
- ・ 地区社協会長変更に伴う役員等の交代について
- ・ 第1回地区社協会長連絡会の開催について
- ・ その他

(2) 平成21年12月8日(火)

- ・第2回地区社協会長連絡会の開催について
- ・その他

(3) 平成22年3月24日(水)

- ・平成22年度地区社協関係予算について
- ・第2回地区社協研修会の報告について
- ・地区社協概要について(改訂版の発行に向けて)
- ・第3回地区社協会長連絡会の開催について

2. 連絡会議

(1) 平成21年6月24日(水)

- ・平成20年度地区社協部会活動について
事業報告について
決算報告について
監査結果報告
- ・地区社協役員・市社協各種委員等の選出について
- ・平成21年度地区社協部会活動(案)について
事業計画(案)について
予算(案)について
- ・平塚市及び平塚市社協からのお知らせ

(2) 平成21年12月14日(月)

- ・各種イベントの報告
- ・賛助会費の報告について
- ・赤い羽根募金の報告及び年末たすけあい募金について
- ・平塚市市民活動災害補償制度について 担当 市協働推進課
- ・各種ボランティア保険について
- ・その他
地区社協会長交流会、意見交換会

(3) 平成22年3月31日(水)

- ・平成22年度 地区社協補助金について
- ・平成22年度 地区社協概要の発行について
- ・地区社協補助金交付報告書及び申請書の提出について
- ・第2回地区社協研修会報告について

3. 地区社協活動支援事業

1. 地区社協活動支援補助事業 12,936,785円

地域の福祉活動を推進するため、運営費、事業費を地区社協に助成した。

(1) 社会福祉基金事業 6,521,786円

- ・地区社協活動推進事業(23地区) 2,332,999円
- ・高齢者等サロン開催費(給食事業) 3,555,804円
- ・高齢者等サロン、相談開催事業費 632,983円

(2) 共同募金配分事業 6,414,999円

- ・地区社協活動事業費(23地区)(赤い羽根募金配分事業) 2,499,999円

- ・協力者育成事業費 (23地区)(赤い羽根募金配分事業) 1,629,000円
- ・地区ふれあい広場助成(23地区)(年末募金配分事業) 2,070,000円
- ・サロン事業実績地区助成(13地区)(年末募金配分事業) 216,000円

(3) 賛助会費事業

- ・23地区社協より賛助会費が納入された。 19,953,059円
- ・75%を団体活動費助成金として23地区社協に還元した。 14,964,799円

2. 地区社協活動支援事業

地域の福祉活動を推進するため、各地区社協の役員、スタッフそれぞれの役割や業務にターゲットを絞り、より実践的な研修会を開催した。

(1) 第1回目

- 開催日 8月5日(水)・6日(木)
- 参加者 2日間 延べ143人
- 内容
- 1日目 第2期平塚市地域福祉計画について
平塚市社協地域福祉活動計画について
- 2日目 被災地でのボランティア活動について
身近な物を活用して災害時の対処方法の実演

(2) 第2回目

- 開催日 3月5日(金)
- 参加者 67人
- 内容 平塚市市民活動災害補償制度について
地区社協、ボランティアグループ向けの各種ボランティア保険について

4. 部会活動推進事業

社会福祉協議会の事業推進と連携強化を目的として、部会に運営費等を助成して円滑化を図った。

5部会	合計	400,000円
・地区社協部会		40,000円
・自治会部会		18,000円
・民生委員部会		54,000円
・保護司部会		27,000円
・福祉施設部会		261,000円
(内訳 部会運営費 81,000円 施設職員研修費補助 180,000円)		

5. 団体育成事業

1. 平塚市民生委員児童委員協議会 2,750,000円

住民の福祉に欠かせない民生委員児童委員活動を助長する目的で助成を行った。

- ・実態把握活動費(年末募金配分事業) 1,550,000円
- ・点検活動費・民協活動費 1,200,000円

2. 平塚市自治会連絡協議会（年末募金配分事業）
 共同募金活動の他、福祉事業の協力費として運営費を助成した。 350,000円
3. その他福祉関係団体へ活動費の助成を行った。（年末募金配分事業）
- | | | |
|-----------|------------------|----------|
| 高齢者福祉 | 老人クラブ連合会事業費補助 | 90,000円 |
| 母子福祉 | 母子福祉なでしこ会事業費補助 | 45,000円 |
| 心身障がい児者福祉 | 身障団体 介護者の会等事業費補助 | 13団体 |
| | (1団体あたり36,000円) | 468,000円 |

6. 地域作業所補助事業

1. 地域作業所育成（社会福祉基金事業） 1,388,520円
- ・自動車購入費助成 NPO法人ありんこ ありんこの会 800,000円
 - ・施設修繕改修費助成 NPO法人 麦の家作業所 588,520円
2. 地域作業所等事業運営助成（年末募金配分事業） 4,407,600円
- ・地域作業所の事業運営に対して配分
 （1か所あたり 140,000円） 26作業所 3,640,000円
 - ・グループホーム、ケアホームの事業運営等に配分
 （1か所あたり 90,000円） 8か所(内1か所は87,600円) 717,600円
 - ・障がい児デイサービス事業運営に配分
 （1か所あたり 50,000円） 1か所 50,000円

7. 子育て支援育成事業

1. 平塚市内で子育て支援を行っているグループ、またこれから行おうとするグループに対し、地域との交流を目的に運営費の一部を補助した。
- ・27団体（赤い羽根募金配分事業） 1,130,000円
- | | | |
|-----|------------------|-------------------|
| 内 訳 | 1ヶ月の子どもの参加延べ人数 | |
| | 50人未満 | (1団体20,000円) 27団体 |
| | 年間事業実施回数(21回以上) | 8団体 |
| | 年間事業実施回数(10~20回) | 18団体 |
| | 年間事業実施回数(10回未満) | 1団体 |

2. 子育て団体支援事業

(1) 子育て支援団体情報交換会

開催日 平成21年6月29日(月)
 会場 平塚市勤労会館
 参加者 31団体48人 保育：6名

(2) 子育て支援研修会

開催日 平成21年8月17日(月)
 会場 平塚市勤労会館

講演 「子育て支援と特別支援とは？支援者は誰でも良いか？」
～21世紀の社会福祉支援および教育支援について～

講師 相模女子大学学芸学部 子ども教育学科
准教授 トート・ガーボル氏

参加者 84人 保育1人

(3) 子育て応援団体冊子配布 4,000部

(4) 「ふたごみつご達のひろば」 (赤い羽根募金配分事業)

開催日 毎月第4土曜日(都合で第3土曜日2回)年12回

会場 平塚市福祉会館 集会室

参加者 73組 269人(大人108人・子ども161人)

ボランティア 74人 総数 343人

「おもちゃの病院」(併設)

開催日 毎月第4土曜日(都合で第3土曜日2回)年12回

会場 平塚市福祉会館 第4会議室

参加者 138世帯 修理のおもちゃ:220個

ボランティア 142人

(5) おもちゃ貸出し事業

市内で活動する子育て支援団体に無料で貸し出しを実施する。

貸出件数 7件

(6) あそびの森INひらつかアリーナ

例年「福祉まつり」の一環で「あそびの森」を実施していたが、新たなイベントとして会場を「ひらつかアリーナ」に移し市民・行政・社協の協働で「子育てイベント」を開催した。

開催日 平成21年11月20日(金)10時~15時

会場 ひらつかアリーナ

内容 ゆかいなコンサート わくわくひろば あそびやコーナー

おもちゃのひろば モンテッソーリ湘南子どもの家

おもちゃ病院 タクシーの便利な使い方(展示・登録)

参加者 合計634人

8. 地域特別事業

地域社会福祉活動をより一層強化、発展をはかるため、地域や団体で実施する特別な社会福祉事業に要した事業費の一部を補助した。

・NPO法人神奈川県視覚障害者福祉協会

第55回全国盲女性研修大会(神奈川大会)

助成額 30,000円

4. ボランティア活動推進事業

市民の善意の開発と、地域住民の社会奉仕に関する理解と関心を深めるとともに、ボランティア活動の育成援助と必要な連絡調整を行い、社会福祉の増進を図った。

1. ボランティアセンターの運営

ボランティアセンター運営委員会の実施

1. 平成21年6月19日(金)

- ・平成20年度事業報告及び決算について
- ・平成20年度ボランティア登録状況について
- ・平成21年度ボランティアグループ等活動助成金について

2. 平成22年3月24日(水)

- ・平成22年度事業計画及び予算について
- ・平成22年度ボランティアグループ等活動助成金について

2. ボランティアの相談斡旋

- ・ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティア活動の相談・援助及びボランティアニーズ調整を行った。

相談日数 242日

相談時間 8:30~17:00

相談件数 934件

派遣延べ人数 722人

- ・ボランティア登録件数

個人 188人 団体 103グループ(3,145人) 合計 3,333人

3. 調査・研究事業

ボランティアの実態調査

- ・市町村社協ボランティアセンター活動実態調査
- ・市内社会福祉施設ボランティア活動受入状況調査
- ・市民活動グループの把握について

4. 広報啓発事業

- ・「ボランティア情報」を購入し、ボランティアリーダー、地区社協、地区民協及び、小・中・高校、専門学校へ配付した。 年12回
- ・「夏秋ボランティア活動ガイド」の作成・配付 1,000冊
- ・「冬春ボランティア活動ガイド」の作成・配付 500冊
- ・FM湘南ナバサへ情報提供
- ・ボランティアセンター廊下の掲示板活用
- ・ボランティアセンター内掲示板で報告書情報誌などの閲覧
- ・ビデオライブラリーの整備 保有数107巻(内DVD12巻)
- ・ボランティア活動相談基礎知識(新中学生へ) 85冊配布

5. ボランティア育成及び活動の推進事業

1. 土曜ボランティアスクール

学校・会社などの土曜日の休みや勤労者の週休2日を利用して、学生から勤労者等、幅広い層を対象に、体験学習を中心とした講座を開催した。

開催日 5月16日(土)~6月20日(土) 全6回

時間 午前10時~12時

内 容 ボランティア活動とは（講話）・車椅子操作法（講話・体験）
点字体験（講話・体験）
視覚障がい者誘導法（講話・体験）
施設見学（進和学園 進和あさひホーム）
手話体験（講話・体験）
緊急時の対応について（講話・体験）
ボランティアグループ紹介（ボランティア連絡会）
受講生 32人 参加者延べ132人

2. 高齢者給食ボランティア研修会

栄養と食品衛生について学び、地区社協での献立を調理実習した。また、先進地区の事例報告をし、地域での今後の事業を検討した。

開催日 8月28日（金） 参加者 18地区・18人
講師 平塚市健康・こども部健康課 河野管理栄養士
調理指導 土沢地区社会福祉協議会・土屋ママの会6名
事例報告 旭南地区社会福祉協議会 副会長 平林弘子氏

3. 夜間ボランティアスクール

勤労者、学生を主な対象者として、夜間に講義や実習を通し、社会福祉への理解とボランティア活動の啓発及び育成、ボランティア活動への参加促進と活性化を目的とした講座を計画したが、希望者が少なく実施を見送った。

4. 平日ボランティアスクール

ボランティア活動を始めようとしている人・初心者の人・興味がある人を対象に社会福祉意識の啓発及び育成、ボランティア活動への参加促進と活性化を目的とした講座を開催した。

開催日 2月1日（月）～3月15日（月）毎週月曜日 全7回
時 間 午後1時30分～3時30分
内 容 ボランティア活動とは（講話）・高齢者疑似体験（講話・体験）
手話体験（講話・体験）
点字体験（講話・体験）
災害時の対応について（講話・体験）
視覚障がい者誘導法（講話・体験）
車椅子操作法（講話・体験）
ボランティア活動について（講話）
これから活動を始めるために（講話）
ボランティアグループ紹介（平塚ボランティア連絡会）
受講生 43人 参加者延べ190人

5. 精神保健福祉ボランティア養成講座

精神障がい者に対するの病気や障害について理解と基礎的なことを学ぶ講座を開催した。

開催日 7月11日（土）～12月12日（土） 全6回

時 間	午前10時～12時 (初回のみ午後1時30分～3時30分)
内 容	こころの病とは(講話) 医療の現場から(講話)・市行政の立場から(講話) 家族の立場から(講話)・当事者の立場から(講話) カウンセラーの立場から(講話) 通所施設の役割(講話)・当事者への支援制度について(講話) 精神保健福祉ボランティア活動の実態について(講話) ボランティアグループ紹介(こんぺいとう) 施設見学(平塚病院)2回 * オプション企画 市内地域作業所への見学 3人・4か所
受講生	44人 参加者延べ231人

6. ボランティアのつどい

市社協登録の全てのボランティアを対象に、互いの活動についての情報交換や交流の場として実施するもので、普段の活動では異なる活動内容のボランティア同士が交流する機会が少ないため、多くのボランティアが一堂に会し交流することにより、市内のボランティア活動の活性化とさらなる充実、ボランティア同士のより一層の連携を目的に開催した。

開催日	1月20日(水)
時 間	午前10時～12時
内 容	各部門の代表による活動紹介 演芸 原みな子氏(マジック) 地域 寸劇いまいち一座(豊田地区) 個人 大庭昌子氏(アコーディオン演奏) 市域 ひらつか災害ボランティア 平塚ボランティア連絡会
参加者	99人

7. ボランティアグループ活動助成(社会福祉基金事業)

61グループ(市域24・地域37) 助成額 2,251,400円

8. 平塚ボランティア連絡会へ助成(社会福祉基金事業)

助成額 171,000円

9. 専門ボランティア養成研修会(社会福祉基金事業)

点訳、手話、要約筆記 助成額 228,000円

10. 実習、研修事業などへ協力

学校、企業などにボランティア活動や体験学習の講師として協力した。

11. 平塚おもちゃ図書館

障がい児と家族、ボランティアの交流の場として開館した。

開館日数 50日
利用者 182人 (67組)

12. 点訳、音訳奉仕団助成事業 (社会福祉基金事業)

点訳赤十字奉仕団 助成額 85,000円
音訳赤十字奉仕団 助成額 10,000円

13. 視覚障がい者支援 テープライブラリー助成事業 (社会福祉基金事業)

音訳赤十字奉仕団 助成額 47,820円

6. ボランティア啓発育成 (社会福祉基金事業)

小中高等学校福祉活動助成 (小学校13・中学校16・高等学校5 計34校)
助成額 856,000円

7. 録音・点字図書等の貸出し事業

視覚障がい者の教養娯楽に供するため、各種録音テープ点字図書の貸出しをした。

・受入数

録音図書 (デイジー) 79タイトル 79巻
点字図書 27タイトル 116冊

・保有数

録音図書 (テープ) 1,792タイトル 17,144巻
(デイジー) 144タイトル 144巻
点字図書 257タイトル 1,038冊

・貸出し状況

	区 分	利用人数(延べ)	貸出し巻数
録音 テープ デイジー	定期刊行物	762	762 (内訳 広報580、議会182)
	図書(テープ) (デイジー)	79 86	820 86
	合 計	927	1,668
点字図書	定期刊行物	289	289
	図 書	150	623
	合 計	439	912

8. 車椅子の貸出し

保有台数 70台
延貸出件数 212件
延貸出日数 3,260日

9. 善意の寄託品

	寄託物品	寄託者	件数	配分先
1	図書券2,000円分×17人分	湘南リビング新聞社	17	高校生以下の交通遺児に配付
2	はがき、切手	個人	1	社協の事業に活用
3	神奈中乗車券10枚綴り	個人	2	社協ボランティア活動に活用
4	ハンドタオル8枚、バスタオル7枚、シーツ4枚	個人	2	福祉会館老人福祉センター平塚栗原ホームで活用
5	劇団カップ座公演チケット14枚	平塚カップ友の会	1	3歳以上中学1年生以下の交通遺児とその保護者
6	車椅子(中古品)1台	個人	1	社協で市民貸し出し用
7	毛糸、手芸用品、古シーツ、ハンドタオルなど数十点	個人	1	社協と地域作業所
8	車いす用スロープ(木製)3基(中古品)	個人	1	市社協ボランティアセンターで活動、啓発用
9	車椅子1台(新品)	マックスパリュ東海(株)平塚河内店	1	社協で市民貸し出し用
10	お米2kg入り60箱	大山阿夫利神社	1	市内グループホーム、ケアホーム
11	おもちゃ(中古品)アンパンマン手押し車1台、ロディ1台	個人	1	おもちゃ図書館(福祉会館内)

5. 当事者援護事業

1. 要保護者援護事業

1. 要援護世帯等の慰問

生計困難世帯、在宅重度の身体・知的・精神障がい児者、原爆被災者の方に市受託金による慰問金を贈った。

	夏 期		年 末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
生計困難世帯	558件	3,622,000円	557件	4,252,000円 (年末募金配分事業)
在宅重度の身体・知的・精神障がい児者			2,090件	4,180,000円
原爆被災者	64件	320,000円		
合 計	622件	3,942,000円	2,647件	8,432,000円

2. 小・中学校入学祝金及び入学準備補助(社会福祉基金事業)

生計困難世帯の小・中学校入学児童へ祝金と学生服の購入補助をした。

なお、社会情勢を勘案し、20年度より祝金を1万円から2万円に増額支給した。

(3年間限定)

	祝金	被服購入費助成	
小学校入学	(20,000円 + 10,000円)	× 24人 =	720,000円
中学校入学(男)	(20,000円 + 20,000円)	× 27人 =	1,080,000円
〃 (女)	(20,000円 + 25,000円)	× 27人 =	1,215,000円
	計	78人	3,015,000円

3. 修学旅行支度費(年末募金配分事業)

生計困難世帯の児童で、小学6年生と中学3年生の修学旅行支度費の一部を次のとおり交付した。

5,000円 × 43人 =	215,000円 (小学校6年生)
10,000円 × 50人 =	500,000円 (中学校3年生)
計	93人 715,000円

2. 緊急援護事業

法外援護として、旅費困窮、行旅病人等緊急援護を必要とする者に次のとおり援護した。

・旅費困窮者救護金 (177件 × 300円)	53,100円
・行旅病人等旅費、食事代 (7件)	6,000円
・休日、年末年始対応(市役所及び市民病院)バス回数券購入	6,000円
合計	65,100円

3. 高齢者福祉事業

1. 寝たきり高齢者等慰問事業(社会福祉基金事業)

在宅の寝たきり高齢者(要介護度4・5)等、対象者となる方に尿とりパッド贈呈
年2回 8月 254人 2月 250人 計504人 412,776円

2. 福祉電話料助成(社会福祉基金事業)

ひとり暮らし高齢者福祉電話料助成

年度未加入者28人(延33人 親機1台含む) 688,337円

4. 障がい児者福祉事業

1. 障がい児と保護者の慰安激励(ディズニーランドへバス3台)(赤い羽根募金配分事業)

参加者 41世帯 133人 963,910円(参加者負担金320,000円)

2. 点字図書購入費助成(社会福祉基金事業)

1・2級視覚障がい者に点字図書購入費の一部を助成 10件 100,000円

5. 児童福祉、母子・父子福祉事業世帯健全育成

1. 母子・父子世帯健全育成

母子・父子世帯の交流と慰安激励(ディズニーランドへバス2台)(赤い羽根募金配分事業)

参加者 33世帯 90人 570,820円(参加者負担金305,500円)

2. 青少年健全育成(年末募金配分事業)

社会を明るくする運動の推進母体に活動費を助成 180,000円

3. 地域交流事業助成(社会福祉基金事業)

公立保育園10園 180,000円

6. 災害見舞金支給事業

災害援護活動 50,000円(赤い羽根募金配分事業・たすけあい福祉資金配分金)

全焼(損) 20,000円×2件

半焼(損) 10,000円×1件

7. 遺児援護事業

1. 交通遺児激励金

区分及び単価		支給時期	件数	支給合計(円)
県社協分	激励金 50,000円	小学校入学	0	0
		中学校入学	0	0
		中学校卒業時	4	200,000
		高校卒業時	1	50,000
県社協分	見舞金 100,000円	交通遺児発生時	0	0
		小計	5	250,000
市社協分 (遺児基金事業)	激励金 15,000円	18歳以下の対象者 へ年1回	17	255,000

2. 一般遺児激励金(年末募金配分事業)

18歳以下の遺児に激励金 (1人10,000円)を配付	70世帯 児童数103人	1,030,000
--------------------------------	-----------------	-----------

8. 在住外国人共生事業

在住外国人生活支援実践活動への支援(年末募金配分事業)

日本語教室、子ども教室、生活相談の3部門構成にて、横内団地集会所における活動の支援を行った。横内プロジェクトへ事業費補助 200,000円

6. 貸付事業

1. 生活福祉資金貸付

低所得世帯、高齢者、障がい者の世帯からの相談を受け、自立更生、生活安定を図るためそれぞれに必要な助言・指導を行うと共に、申請を受付け次のとおり取扱った。

なお、年度途中で制度改定により生活福祉資金貸付事業の見直しが行われ、総合支援資金・福祉資金・教育支援資金・不動産担保型生活資金の4種類に整理・統合、平成21年10月より運用が開始された。新たに位置づけられた総合支援資金は、失業者等、生活に困窮している者に対し継続的な支援（就労支援、家計指導等）とあわせて、生活費及び一時的な資金の貸付を行うことで生活の立て直しを支援する制度である。この制度については、住宅手当の窓口（平塚市役所総合相談窓口）やハローワークとの密な連携が不可欠であり、緊急雇用対策「ワンストップ・サービス・デイ」（11/30,12/21）にも協力した。

教育支援資金については、3月31日まで高校授業料等の滞納により卒業や進級が困難な生徒への貸付を受付け実施した。

1. 総合支援資金

貸付件数	生活支援費	8件	4,586,000円
	住宅入居費	4件	870,542円
	一時生活再建費	2件	560,000円

2. 福祉資金

種類	件数(件)	貸付金額(円)
技能修得等に必要な経費	1件	3,244,000円
療養にかかる必要な経費	2件	767,000円
住居の移転等に必要な経費	2件	635,000円
緊急小口資金	24件	2,079,000円
合計	29件	6,725,000円

3. 教育支援資金

貸付件数	10件	5,838,000円
うち高校生授業料等滞納分	貸付件数 2件	1,423,000円

4. 不動産担保型生活資金

一般向け	貸付件数	0件
要保護世帯向け	貸付件数	0件

5. 離職者支援資金

貸付件数	1件	450,000円
------	----	----------

生活福祉資金の見直しにより、平成21年度9月にて終了。

2. 臨時特例つなぎ資金貸付

平成21年度10月に解雇や雇い止め等により、住宅を喪失し、その後の生活維持が困難である離職者等に対し、公的給付制度等の申請から決定までの生活費を有しない者に対し生活に必要な費用を貸し付ける制度が創設された。

貸付件数 10件 785,000 円

3. 一時貸付

低所得世帯で一時的に生活等が困窮な世帯に次のとおり貸付けた。

平成21年度貸付金額 45件 1,691,000円

平成21年度中償還額（平成17年度～平成21貸付分）延べ174件(内完納39件)

金額 1,425,000円

平成21年度未償還状況（平成21年度貸付分を含む）

	件数	金額(円)
貸付金額累計	935	35,332,200
償還済額累計	702	28,312,200
欠損処分量累計 (うち21年度欠損処分量)	88 (15)	2,488,000 (578,000)
貸付残額	145	4,532,000

7. 生活支援事業

地域においてさまざまな人々がさまざまな悩みをかかえて生活している。その生活福祉ニーズを解決するために、関係機関や社会資源を有機的に連携させながら、相談活動体制をはかるとともに、地域で発生した生活課題に対しても、地域に即した創意と工夫を行いながら支援を実施した。

相談事業

生活支援相談（月曜日～金曜日）

・生計支援相談（一時貸付金相談） 71件

法律相談

弁護士による相談を実施した。

年11回 相談件数47件

8. 日常生活自立支援事業（ひらつかあんしんセンター）

福祉サービスの利用手続きや、日常生活の金銭管理等を行うことが難しい状況にある障がい者や高齢者等の生活を安定させることを目的に事業を実施した。

1. 相談援助活動

・問い合わせ、初回相談件数	102件		
高齢者(虚弱、認知症等)	57件		
障がい者	41件		
内 訳			
身体障がい			10件
知的障がい			17件
精神障がい			14件
その他(不明)	4件		
・相談援助活動	2,825件		
(他機関との調整含む)			
高齢者(虚弱、認知症等)	1,264件		
障がい者	1,514件		
内 訳			
身体障がい			266件
知的障がい			670件
精神障がい			578件
その他	47件		

2. 契約件数

契約件数 74件（新規契約13件、継続70件、解約9件）

内 訳	福祉サービス利用援助 ・日常的な金銭管理	書類等 預かり	契約人数
高齢者(虚弱、 認知症等)	39	14	53(13)
身体障がい	6	4	10(4)
知的障がい	12	7	19(3)
精神障がい	11	3	14(2)
その他	-	-	-
合計	68	28	96(22)

件数は個人を単位としている。

()は、福祉サービス利用援助サービス及び日常的な金銭管理サービスを利用している者のうち、書類等預かりサービスも併せて利用している者を示す。

高齢者、障がい者の区分は、契約時のものによる。

3. 訪問活動

・専門員等の訪問調査活動	延べ	501回
・生活支援員の訪問及び活動	延べ	1,472回
(専門員代行分含む)		

4 . 日常生活自立支援事業審査会

- ・開催回数 6回
- ・審査内容(単位:件)

対象者		項目	認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神 障がい者	身体 障がい者	その他 ・不明	合計
審査内容	審査(契約・解約 ・支援計画等)		32	5	6	3	0	46
	相談・助言		3	0	2	0	2	7
	その他		14	5	14	4	0	37
審査合計			49	10	22	7	2	90

9 . 子育て支援事業

1 . 子育て支援センター

地域の子育て家庭に対する育児不安等についての相談対応・情報の提供、子育てサロンの運営及び子育てサークル等への支援、並びに地域の保育ニーズに応じて地域の子育て支援関連機関との連携を図ること等を行い、地域の子育て家庭への支援を図るため、子育て支援センターを設置し、地域全体で子育てを支援する基盤を形成することにより、育児支援を図った。

- ・実施施設

豊田分庁舎(子育て支援センター)

- ・開設日 242日

- ・利用状況

利用総数 20,242人

来所実人員 19,884人

相談実数 1,650人

相談延件数 2,368件

* 相談者は来所者と重複する場合がある

相談内容 子どもに関する相談 1,652件

身体 762件 精神情緒 184件 生活 706件

親に関する相談 716件

子との関係接し方 493件 夫との関係 19件

家族関係 20件 母親の疾患 44件

母親の仕事 43件 社会参加 14件

近隣地域知人 16件 グループ活動 1件

その他 66件

視察等の受入れ 288人

- ・活動内容

出向、訪問等での相談 0件

相談以外の補完的援助 368件

- ・関係機関との連携・協力等 7件
- ・グループ支援 9件
- ・会議、研修、視察等の参加 30件
- ・ワクワクタイム 9回
- ・スペシャルジョイフルタイム 12回

2. ファミリー・サポート・センター

地域において育児の援助を受けたい方と行いたい方を組織化し、相互の援助活動を行うことにより、安心とゆとりをもって子育てができる環境をつくる。平成15年7月1日より活動を開始した。

- ・実施施設 豊田分庁舎
- ・開設日 242日
- ・会員数

	平成21年度	累計
延べ会員数	143人	841人
支援会員	29人	234人
依頼会員	119人	633人
兼ねている会員	5人	26人

活動実績

- ・問合せ件数 2,809件
- ・事前、顔合せ件数 310件
- ・活動実績 3,164件(6件) 6,277時間45分(363時間50分)
- ()は休日対応

活動内容

- ・保育所、幼稚園登園前の預かり及び送り 242件
- ・保育所、幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり 458件
- ・保育所・学校等休み時の援助 60件
- ・学童保育の迎え及び帰宅後の預かり 181件
- ・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助 379件
- ・保護者等の外出援助 99件
- ・子どもの習い事等の援助 414件
- ・保護者等の病気、その他急用の場合の援助 338件
- ・その他 993件

研修会等

支援会員講習会

第1回	6月12日	27人
	6月15日	25人
	6月16日	25人
第2回	11月13日	15人
	11月16日	11人

	11月19日	12人	
支援会員フォローアップ研修会	「子どもと楽しむ簡単手作りおもちゃ」		
	9月29日	福祉会館	
	支援会員	15人	依頼会員 0人
会員交流会	「MYクリスマスツリー&リースを作りますか？」		
	11月28日	福祉会館	
	支援会員	8人	依頼会員 6人 保育 0人
	両方会員	1人	子ども 11人
実行委員会	4回	延べ17人	
会員懇談会	「活動の記録を写真に残しませんか？」		
	7月17日	福祉会館	6人
	「布ぞうりを編みながらおしゃべりしませんか？」		
	3月17日	福祉会館	9人

10. 施設管理受託事業

1. 施設管理事業

1. 平塚市福祉会館、東部福祉会館白寿荘、南部福祉会館、老人憩いの家平塚市七国荘、在宅福祉サービスセンター平塚栗原ホームの管理運営について指定管理者制度における指定を受けた。

平塚市福祉会館での総合福祉センターとしての業務と東部福祉会館白寿荘、老人憩いの家平塚市七国荘、在宅福祉サービスセンター平塚栗原ホームの福祉業務など高齢者及び心身障がい者等の福祉の増進と生活向上を図り、南部福祉会館は、老人福祉センターと機能回復訓練用温水プールを備えた施設として、高齢者及び障がい者等の福祉並びに健康保持・増進に寄与するために次の事業を行った。

平成21年10月より通信カラオケを福祉会館他3館へ導入し有料とした。また、ヘルストロンを白寿荘、七国荘へ新規に導入し、福祉会館は入替えを行い利用いただいている。

(1) 老人福祉センター等の利用状況(利用延べ人数)

	個人利用		団体利用			合計
	大広間	機能回復訓練室及び教養室	利用団体数	人数	日曜	
福祉会館 老人福祉センター	39,199	6,306	226	7,190	278	46,389
白寿荘 老人福祉センター	19,037	3,216	176	5,270	-	24,307
南部福祉会館 老人福祉センター	38,023	3,275	130	2,870	-	40,893
老人憩いの家 七国荘	333	-	140	4,428	-	4,761
合計	96,592	12,797	672	19,758	278	116,350

(2) 福祉会館会議室等の利用状況

高齢者・障がい者・福祉団体を対象に趣味・教養の向上のためのサークル活動や会議の場として会議室等を提供した。また、市民の福祉向上を図るため生活支援等、各種相談の場を提供した。

会議室等の利用状況(延べ人数)

第一会議室	7,728	身障判定室	213
第二会議室	12,118	料理講習室	1,246
第三会議室	4,935	(A)相談室	145
第四会議室	2,901	(B)相談室	881
集会室	2,696	生活支援(C)相談室	1,014
奉仕活動室	1,952	ボランティアセンター	934
身障いこい室	1,839		
合計			38,602

(3) 障がい者福祉の向上及びボランティア活動の支援

各種奉仕活動の拠点として活動の場を提供した。

福祉会館奉仕室等の利用状況(延べ人数)

点訳奉仕室	1,509	録音奉仕室	820
図書室	416	ボランティアセンター活動室	159
合計			2,904

(4) 南部福祉会館会議室等の利用状況(延べ人数)

- ・会議室 179団体 3,735人
- ・ボランティア活動室 349団体 5,570人

(5) 南部福祉会館機能回復訓練用温水プールの利用状況

- ・登録累計 (個人) 3,563人 (団体) 23団体
- ・利用 高齢福祉課事業 2回 18日 403人
- 健康づくり教室 3回 24日 470人
- シルバー教室 6回 48日 1,070人
- 個人 22,956人
- 団体 7団体 747人 合計 25,646人

(6) 健康相談(老人福祉センター利用時に血圧測定等を実施)

- ・福祉会館 3,379人
- ・南部福祉会館 876人
- ・東部福祉会館白寿荘 4,852人

(7) 在宅福祉サービスセンター平塚栗原ホームの管理運営

平塚市から指定管理者制度の指定を受け、管理運営等の事業を実施した。

貸館について

- ・大会議室 79回 利用人員 1,901人(男304人、女1,597人)
- ・小会議室 50回 利用人数 688人(男232人、女456人)

(主な利用団体 平塚ろう学校、転倒骨折予防教室修了者サークル等)

2. 高齢者・障がい者の保健・教養・レクリエーション事業

高齢者及び障がい者の生きがいを高め、健康で明るい生活を目指して高齢者趣味の講座・高齢者保健講座・身障者趣味の講座を開催し、12月に「福祉まつり」を行いその

成果を発表した。

(1) 講座開催状況

高齢者趣味の講座

講座名	定員	回数	受講者数	延べ受講人数
楽しく学ぶ書道教室	24	7	22	133
囲碁を学ぶ講座	20	8	25	202
童謡・唱歌を歌おう(白寿荘)	25	7	25	145
太極拳(白寿荘)	25	7	25	134
楽しく踊るフラダンス(七国荘)	20	8	28	155
合計	114	37	125	769

身体障がい者趣味の講座

季節を感じて俳句を一句(視覚)	10	6	9	39
ワッスのお袋の味はいかが?(聴覚)	12	6	9	48
合計	22	12	18	87

南部福祉会館趣味の講座

フラダンスでリフレッシュ	25	8	28	182
山野草を楽しむ	20	8	18	114
合計	45	16	46	296

介護予防教室

転倒骨折予防教室	25	4	23	80
----------	----	---	----	----

総 合 計	206	69	212	1,232
-------	-----	----	-----	-------

(2) 福祉まつり(2. 広報啓発事業に掲載)

開催日 12月3日(木)~5日(土)

会 場 福祉会館

(3) 視察・見学の受け入れ 合計 109人

福祉会館

・団 体 1団体 7人
(看護学校)

南部福祉会館

・団 体 1団体 6人
(看護学校)

・個 人 96人

2. 福祉電話の連絡業務

福祉電話の基地として、ひとり暮らしの高齢者のために1日1回電話で連絡を行い、安否の確認をした。

対象者 24人 延べ4,300回 月平均 358回

3. 利用者懇談会の実施

会館利用について、利用者団体の方より意見をきき改善策を講じた。

参加者：代表者6人

開催日：10月29日(木)、3月16日(火)

4. 利用者の声

利用者の方々から意見や感想をきくために、各館にアンケート用紙を設置し回収箱に投函していただいた。 合計12件

平塚市福祉会館に関すること

- ・老人福祉センター大広間の特定団体貸切について 1件
- ・視覚障がい者から駐車場について 1件
- ・老人福祉センター教養室の利用について 2件
- ・カラオケと送迎バスについて 1件
- ・トイレの清掃について 1件

平塚市南部福祉会館に関すること

- ・プールの利用について 1件
- ・駐車場について 1件

老人憩いの家平塚市七国荘に関すること

- ・七国荘周辺について(前のゴミ山について) 1件
- ・七国荘について 1件
- ・カラオケ機器について 2件

5. 福祉会館等自主事業「防犯教室 - 振込め詐欺について - 」

老人福祉センター利用者の防犯意識を高める為、平塚警察署生活安全課に依頼し実施した。

・福祉会館	2月16日(火)	60名
	3月11日(木)	50名
・南部福祉会館	2月22日(月)	43名
	3月12日(金)	38名
・白寿荘	3月19日(金)	51名
・七国荘	3月17日(水)	29名
	3月20日(土)	35名

1.1. 在宅福祉サービス事業

1. 介護保険事業

介護保険による次の事業を実施した。

1. 居宅介護支援事業

要介護高齢者(介護保険対象者)の居宅介護支援計画を実施した。

・相談、調査件数

電話相談	2,597件	来所相談	41件
ケアプラン作成訪問	834件	申請代行訪問	69件
その他訪問	201件	サービス担当者会議	116件

・ケアプラン作成件数

内訳	要介護1	292件	要介護2	365件
	要介護3	232件	要介護4	129件

年間 延べ 1,101件

要介護5 83件
 平塚市地域包括支援センターより受託し介護予防支援計画を作成した。
 ・予防計画作成件数 年間 延べ 69件
 内 訳 要支援1 24件 要支援2 45件
 平塚市より委託を受けて要介護認定調査を実施した。
 ・認定調査数 年間 延べ 175件

2. 訪問介護事業

要介護高齢者（介護保険対象者及び予防介護対象者）の居宅介護支援計画に基づいて訪問介護（ホームヘルパーの派遣）事業を実施した。

・相談、調査件数
 電話相談 930件 訪問調査 618件
 ・利用者数 96人（訪問介護 47人・介護予防訪問介護 49人）
 内 訳 要支援1 27人 要支援2 22人
 要介護1 13人 要介護2 16人
 要介護3 7人 要介護4 6人
 要介護5 5人
 ・派遣回数 9,076回
 内 訳 身体介護 1,620回 生活援助 1,837回
 介護予防 3,049回 身体生活 2,570回
 ・派遣時間 10,659.5時間
 内 訳 身体介護 1,065時間 生活援助 2,281時間
 身体生活 3,922.5時間 介護予防 3,391時間
 ・訪問介護同行研修の受入れ
 研 修（受入日数 延べ 52日 受入人数 延べ 114人）
 県立平塚ろう学校 延べ 78人
 県立小田原高等職業技術校 延べ 8人
 神奈川社会福祉専門学校 延べ 18人
 （財）総合健康推進財団 延べ 10人

3. 通所介護事業

要介護高齢者（介護保険対象者）の居宅介護支援計画に基づいて通所介護（デイサービス）事業を実施した。

(1) 利用実績

・利用者数 80人（通所介護 60人 介護予防通所介護 20人）
 内 訳 要支援1 6人 要支援2 14人
 要介護1 12人 要介護2 18人
 要介護3 18人 要介護4 8人
 要介護5 4人
 ・利用回数 延べ5,242回（内訳 通所介護4,255回 介護予防通所介護987回）

(2) 年間行事

毎月の誕生会と季節にあった行事を実施した。

月	内 容	月	内 容
毎月	誕生会	11月	南原保育園との交流会
5月	端午の節句(菖蒲湯)	12月	クリスマス会、冬至のゆず湯
6月	七夕作品づくり、南原保育園との交流会	1月	どんど焼き
7月	七夕観賞	2月	豆まき、家族会、南原保育園との交流会
8月	夏まつり		
9月	敬老週間	3月	ひなまつり

(3) 研修及びボランティアの受入れ

- ・ 研 修 (職場体験及び実習)
(受入日数 延べ 13日 受入人数 延べ 63人)
中学校 (江陽、大野)
高等学校 (高浜、大原)
大学 (平塚看護専門学校)
平塚ろう学校
- ・ ボランティアの受入れ(日数 延べ 148日 人数 延べ 336人)
一般の方
崇善地区社協
立野町老人会
演芸等(フラダンス、ハーモニカ、大正琴、折り紙、読み聞かせ、ギター、三味線、舞踊、茶道、琴、マジック)
- ・ その他 (受入日数 延べ 54日 受入人数 延べ 406人)
盲学校(あんま実習) 14日間 延べ 60人
相談員 12日間 延べ 24人
崇善小学校 1日間 延べ 40人
南原保育園 3日間 延べ 90人
白百合保育園 24日間 延べ 192人

2. 障がい者自立支援居宅介護事業

障がい者自立支援制度による次の事業を実施した。

- ・ 電話相談 722件
- ・ 訪問調査 157件

1. 居宅介護事業

身体、知的、精神障がい者(介護給付対象者)に対して居宅介護従事者(ホームヘルパー)の派遣を実施した。

- ・ 利用者数 46人(身障25人・知的2人・精神19人)
- ・ 派遣回数 3,934回
(内訳 身体介護 511回 家事援助 3,423回)
- ・ 派遣時間 5,428.5時間
(内訳 身体介護 554.5時間 家事援助 4,874時間)

2. 重度訪問介護事業

重度身体障がい者(介護給付対象者)に対して重度訪問介護従事者(ホームヘルパー)の派遣を実施した。

- ・利用者数 1人
- ・派遣回数 (身体介護) 858回
- ・派遣時間 (身体介護) 1,480.5時間

3. 平塚市地域生活支援事業の移動支援

身体、知的、精神障がい者(介護給付対象者)に対して居宅介護従事者(ホームヘルパー)の派遣を実施した。

- ・利用者数 17人(内訳 身障4人・知的3人・精神10人)
- ・移動支援派遣回数 413回
- ・派遣時間 373時間

3. 配食サービス事業

1. 平塚市ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業

家庭において炊事の支度をするのが困難なひとり暮らしのお年寄り等を対象に、夕食を各家庭まで配食するとともに安否の確認を実施した。

- ・配食数 延べ 4,781食
- ・登録者数(3月末登録者) 22人(男7人・女15人)

4. ホームヘルプサービス事業

平塚市在宅高齢者生活管理指導員派遣事業

介護保険において非該当(自立)と判定された方で日常生活を営むのに支障があり、生活支援が必要な高齢者に対して生活支援のホームヘルパーが伺い家事の援助を行った。また、活動に必要な、相談研修、連絡調整、及び事務手続等を行った。

- ・相談、調査件数

電話相談 3件 来所相談 0件 訪問調査 2件

ヘルパーの派遣に関する相談、訪問調査及び、他機関への連携、介護、健康についての相談援助を行った。

- ・利用状況

支援内容	利用者数	費用区分(実数)		利用回数 (日数)延べ	利用時間延べ
		無料	有料		
生活管理 指導	2人	0人	2人	68日	68時間

2. 平塚市育児支援家庭訪問事業ヘルパー派遣業務

子どもの養育について支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に過重な負担がかかる前の段階において、訪問による支援を実施することにより、当該家庭において安定した子どもの養育が可能となること等を目的に家事の援助を行った。

- ・利用状況

利用者数 7人 利用回数 延べ 39日 利用時間 延べ 77時間

5. 自主事業

市社協独自で行なうホームヘルパー事業を実施した。

・利用状況

支援内容	利用者数	費用区分(実数)		利用回数 (日数)延べ	利用時間延べ
		無料	有料		
自主	28人	0人	28人	303回	304時間

・研修会の開催

全体研修 7回 延べ 189人

・予防検査の実施

ホームヘルパー全員に対して、0 - 157の検便を12回延べ538人に実施した。

6. 地域包括支援センター事業(ゆりのき)

在宅の高齢者の心身の特性を踏まえて、可能な限り居宅において、自立した日常生活を営めるよう配慮し、高齢者の選択に基づいた自立に向けて設定された目標を達成するために、適切な保健医療サービス及び福祉サービスを総合的かつ効率的に提供することを目的とする。

サービスの提供にあたっては利用者の意思及び人格を尊重し、関係市町村、他の地域包括支援センター、指定居宅介護支援事業者、介護保険施設、住民による自発的な活動によるサービスを含めた地域における様々な取組みを行う者等との連携に努め、富士見・崇善・松原地区を担当地区として以下の事業を展開した。

地域包括支援センターゆりのきの事業実績

・各種相談の実施

相談者	実人数	282人			
相談方法	来所	19人	電話	106人	
	訪問	44人	その他	113人	
対象者の状況	要支援	32人	要介護	28人	非該当 3人
	特定高齢	112人	その他	107人	

・各種相談内容

相談件数	552件		
(相談内容内訳)			
介護保険	303件	(要支援者プラン作成依頼86件を含む)	
高齢者保健福祉サービス	36件	権利擁護関係	23件
高齢者虐待関係	17件	保健医療	15件
特定高齢者関係	112件	その他	46件

・各種サービスの申請内訳

介護保険関係	301件	高齢者保健福祉サービス	46件
--------	------	-------------	-----

・予防プラン内訳

特定高齢者	42件
-------	-----

新予防給付（給付管理実績） 延べ2,471件（内委託 延べ118件）

・認定調査 262件

・居宅介護支援専門員への支援

困難事例を抱える介護支援専門員への対応等 71件

個別事例に対するサービス担当者会議開催支援 1件

地域内ケアマネジャーとの交流会、研修会 2回

ケアプラン作成指導等のケアマネジメント指導 2件

その他 3件

・会議開催状況

地域ケア会議 4回 サービス担当者会議 348回

・会議出席状況

民生委員定例会 6回 地区社協定例会 3回

福祉村開催会議 2回 地域活動団体 8回

地域包括支援センター連絡会等 28回

地域のインフォーマルサービス関係 20回

・ゆりのきサロン（平成21年10月から月1回開始）

開催数 6回 参加者延べ 49人

・認知症サポーター養成講座

平塚栗原ホーム開催分 2回 参加者延べ 105人

地域開催分 2回（三区自治会、須賀新田自治会） 参加者延べ 52人

12. 市受託事業

1. ひらつか地域介護システム会議の運営

市社協が事務局となり、各種サービスを提供する事業者や関係機関の連絡調整体制及び利用者に対する情報提供体制を確立し、介護サービス等の信頼性の確保と質の向上、充実及び介護保険制度の円滑な運営を図り、高齢者等の福祉の増進に寄与することを目的として実施した。

1. ひらつか地域介護システム会議

・総会	1回	・幹事会	2回
・介護情報推進部会	0回	・サービス適正化推進委員会	0回
・サービス向上検討部会	8回（内研修2回）		
・監事会	1回		

2. 事業別連絡会

・居宅介護支援連絡会	5回	・訪問介護連絡会	6回
・訪問入浴連絡会	4回	・訪問看護連絡会	6回
・通所サービス連絡会	7回	・福祉用具・住宅改修連絡会	6回
・介護保険施設連絡会	6回	・グループホーム連絡会	6回

3. ひらつか地域介護システム会議主催による研修等

・ 居宅介護支援連絡会	「介護保険制度改正に伴う介護報酬勉強会」	1回
	「地域包括支援センターとの情報交換会」	1回
	「精神疾患の方への支援に関する研修会」	1回
・ 訪問介護連絡会	「医療機関との情報交換会」	1回
	「食中毒予防について」	1回
	「訪問介護の記録について」	1回
・ 訪問入浴連絡会	「介護技術について(前後半2部制)」	1回
	「デベロ入浴介護専門研修会について」	1回
・ 訪問看護連絡会	「入浴車内の整頓について」	1回
	「精神疾患事例相談会について」	1回
・ 通所サービス連絡会	「認知症の具体的な対応について」	1回
	「救急隊との交流会について」	1回
	「レクリエーション研修」レク発表作品展示含む	1回
・ 福祉用具・住宅改修連絡会	「事例発表・レク発表・作品展示」	1回
	「新商品の説明会」	1回
	「福祉用具の追加品目に関する研修会」	1回
・ 介護保険施設連絡会	「福祉用具の展示会」	1回
	「傾聴ボランティアについて」	1回
・ グループホーム連絡会	「認知症の周辺症状を正しく理解する」	1回
	「事例発表のまとめ方を学ぶ」	1回
	「事例発表会」(8事例)と講義	1回

4. 平塚市医師会・ひらつか地域介護システム会議合同研修会

日時	平成22年1月10日(日)
	13時30分～16時30分
会場	平塚プレジール 5F高砂
参加者	90事業所 184名
	医師会・地域包括支援センター・介護相談員他 36人
	合計 220人
テーマ	講演：「認知症をめぐる介護の現状と課題」
	講師：平塚市医師会認知症研究会幹事 久保田 毅医師
	特別講演：「認知症の介護に生かす診断と治療」
	- 認知症患者を守るために今私たちができること -
	講師：名古屋フォレストクリニック院長 河野 和彦医師

5. 医師会との交流会

日時	平成22年3月11日(木)
	18時30分～20時30分
会場	平塚商工会議所 3Fホール
参加者	73事業所 113名

医師会・地域包括支援センター他 15名

合計 128名

- テーマ 「医療機関とスムーズな連携の取れた4事例」
内容 ・事例発表と懇親会
・質疑応答

6. ホームページひらつか介護情報ネットワーク（愛称ひらのすけ）の運営

<http://www.hiranosuke.jp>

2. 家族介護者交流事業

栗原寄席・家族会の実施

介護予防の啓発を視野に入れながら、家族介護者の心身のセルフケアや地域住民の皆様にも役立てていただくことを目的に実施。また、家族会はご家族の皆様の意見交換を通し、意見を収集、それらを業務に反映することで今後のより良いサービス提供を行う事を目的に実施した。

- ・平成22年2月11日（木）
「栗原寄席」 22人
「家族会」 11人

3. 家族介護教室

地域包括支援センターゆりのきでは、ご高齢の方が要支援状態や要介護状態となることを予防し、住み慣れた地域で自立した日常生活を営めるよう支援するため平塚市が実施する「平塚市地域支援事業任意事業家族介護教室」を受託し実施した。

- ・平成21年10月 9日（金）
申込人数 21人 出席人数 17人
- ・平成22年 1月27日（水）
申込人数 17人 出席人数 15人

4. ケアマネジャーとの交流会・勉強会

担当地域における包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の一環として、市内にいるケアマネジャー、及びゆりのきが関わる市外ケアマネジャーの皆様との交流・勉強会を実施した。

- ・平成21年11月16日（月） 参加者 18人
- ・平成22年 3月18日（木） 参加者 28人

5. 転倒骨折予防教室事業

平塚市在住・在勤の高齢者が要支援・要介護状態となることを予防し、住み慣れた地域で自立した日常生活が営めるよう支援するため、「平塚市介護予防事業一般高齢者施策転倒骨折予防教室」を受託し実施した。

- ・開催場所 平塚栗原ホーム3階大会議室
- ・開催日程 第1回 平成21年6月10日～7月22日 全7回 毎週水曜日
申込者数 25人 修了者数 18人
第2回 平成22年1月19日～3月2日 全7回 毎週火曜日

13. 基金管理事業

1. 社会福祉基金の受入額

区分	昭和56年度～平成20年度		平成21年度		受入額	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市拠出金	8	400,000,000	-	0	8	400,000,000
民間寄託金	8,201	554,370,130	183	10,097,966	8,384	564,468,096
合計	8,209	954,370,130	183	10,097,966	8,392	964,468,096

合計金額のうち60,033,310円は事業準備積立金

2. 取崩し・造成額 (円)

受入額	前年度までの 取崩し額	平成21年度 取崩し額	取崩し額合計	造成額
964,468,096	1,263,813円	0	1,263,813	963,104,283

14. 遺児等基金管理事業

1. 交通遺児等福祉基金

区分	件数	寄附金額(円)	基金総額(円)
交通遺児へ	11	945,000	57,317,408

2. 善意の寄附金

区分	件数	寄附金額(円)
児童福祉へ	13	36,000
高齢者福祉へ	1	50,000
精神障がい者福祉	2	140,000
合計	16	226,000

15. 共同募金運動

1. 神奈川県共同募金会平塚市支会

市社協内に事務局をおき、赤い羽根及び年末たすけあい募金活動を実施した。

1. 常任委員会

1回目 出席委員 15人

開催日 平成21年4月15日(水)

・支会長及び副支会長の互選

- ・常任委員の委嘱
- ・監事の選任
- ・平成21年度平塚市支会会計予算(案)について
- ・平成21年度平塚市支会特別会計予算(案)について

2回目 出席委員 15人

開催日 平成21年8月18日(火)

- ・新常任委員の委嘱
- ・平成20年度平塚市支会会計決算の承認について
- ・平成20年度平塚市支会特別会計決算の承認について
- ・平成21年度共同募金(赤い羽根)運動実施方針(案)について
- ・平成21年度年末たすけあい募金運動実施方針(案)について

2. 支会委員会 委員 46人

開催日 平成21年8月21日(金)

- ・平成20年度平塚市支会会計決算の報告について
- ・平成20年度平塚市支会特別会計決算の報告について
- ・平成21年度平塚市支会会計予算の報告について
- ・平成21年度平塚市支会特別会計予算の報告について
- ・平成21年度共同募金(赤い羽根)運動実施について
- ・平成21年度年末たすけあい募金運動について

3. 支会監事会 監事 3人

開催日 平成21年5月14日(木)

- ・平成20年度平塚市支会会計決算について
- ・平成20年度平塚市支会特別会計決算について

4. 募金額

募 金 名	目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	達 成 率
赤い羽根募金	21,300,000	21,079,077	98.96%
年末たすけあい募金	18,360,000	18,950,921	103.22%
合 計	39,660,000	40,029,998	101.09%

5. 平成21年度地区別赤い羽根・年末たすけあい募金運動結果表(単位円)

	世帯数	赤い羽根実績額	年末実績額	実績合計
富士見	4,581	1,165,260	1,169,549	2,334,809
崇善	5,733	913,608	945,450	1,859,058
松原	2,446	540,890	524,162	1,065,052
港	4,621	1,086,331	1,093,630	2,179,961
花水	6,230	1,262,435	1,308,636	2,571,071
なでしこ	2,278	610,961	619,690	1,230,651
八幡	2,605	526,820	541,200	1,068,020
真土	2,711	621,260	613,510	1,234,770
四之宮	3,332	832,080	849,998	1,682,078
中原	4,300	1,087,660	1,090,293	2,177,953
南原	1,735	421,660	413,460	835,120
松が丘	2,492	567,150	585,640	1,152,790
豊田	1,648	438,900	409,640	848,540
田村	3,615	882,030	882,808	1,764,838
大神	1,508	446,460	441,271	887,731
横内	3,201	673,480	679,940	1,353,420
城島	1,359	338,950	338,850	677,800
岡崎	2,971	731,700	660,567	1,392,267
金田	3,157	836,050	837,253	1,673,303
土沢	1,872	433,530	437,061	870,591
旭南	6,111	1,342,765	1,366,937	2,709,702
旭北	6,637	1,562,528	1,569,299	3,131,827
金目	4,470	1,247,530	1,280,335	2,527,865
その他	0	2,509,039	291,742	2,800,781
合計	79,613	21,079,077	18,950,921	40,029,998

6. 福祉作文コンクール

応募総数 194篇(内訳 小学生16校42篇 中学生12校152篇)

代表作品の中から次の作品が入選した。(敬称略)

・優秀賞 神奈川県知事賞 「心のふれあい」

神奈川県立平塚ろう学校 中学部3年 伊牟田 愛希

・優秀賞 神奈川新聞社長 「春子おばさん」

平塚市立浜岳中学校2年 飯尾 美咲希

・準優秀賞 「みんなちがって みんないい」

平塚市立浜岳中学校2年 岩脇 夏海

7. 災害義援金

災害救助法が発令された場合、福祉会館窓口に募金箱を設置した。その他、個人や団体からお預かりした義援金を併せ、被災地の共同募金会へ送金した。

- ・ 山口県7.21大雨災害義援金 8月3日から8月21日まで

山口県へ 29,563円
(市民からの善意を含む)

- ・ 福岡県7月豪雨災害義援金 8月3日から8月21日まで

福岡県へ 29,563円
(市民からの善意を含む)

- ・ 兵庫県台風9号災害義援金 8月26日から9月11日まで

兵庫県へ 25,740円
(市民からの善意を含む)

- ・ 台風9号岡山県大雨災害義援金 8月26日から9月11日まで

岡山県へ 25,740円
(市民からの善意を含む)

参考資料

1. 社会福祉基金事業一覧表

平成21年度 平塚市社会福祉基金事業決算

(単位 円)

事業名	事業内容	予算額	決算額	差引	備考
1 地域福祉活動の条件整備及び推進に関する事業		7,602,000	7,290,135	311,865	
(1) 地区社協活動推進事業	地区社協活動の推進を図るための事業に対する助成	6,522,000	6,521,786	214	23地区社協活動費、高齢者等サロン事業、地区ふれあい福祉相談事業
(2) 社会福祉啓発事業	福祉まつり開催経費	420,000	175,573	244,427	各施設の作品展示、啓発パネル展示
	市立保育園地域交流	180,000	180,000	0	市立保育園10園 各18,000円
(3) ねたきり高齢者慰問事業	本人に尿取りパット(年2回配布)	480,000	412,776	67,224	1回目254人、2回目250人
2 ボランティアの育成及び活動の推進・支援に関する事業		4,023,000	3,797,220	225,780	
(1) ボランティア育成	一般市民ボランティア養成	214,000	148,000	66,000	土曜スクール・ボランティアスクール・精神保健福祉
	専門ボランティア養成	228,000	228,000	0	点訳講習会104,000円、手話講習会38,000×2件、要約筆記講習会48,000円
	ボランティアリーダー養成	171,000	171,000	0	ボランティア連絡会助成
(2) ボランティアグループ活動助成	点訳・音訳奉仕団事業助成	95,000	95,000	0	点訳赤十字85,000円 音訳赤十字奉仕団助成10,000円
	ボランティアグループ活動費助成	2,367,000	2,251,400	115,600	グループ助成 61団体
	音訳ライブラリー整備事業	48,000	47,820	180	音訳ライブラリー運営経費
(3) ボランティア啓発育成	小中高等学校福祉活動助成	900,000	856,000	44,000	福祉校36校(小学校13、中学校16、高校5)
3 各種援護の充実を図る事業		4,045,000	3,015,000	1,030,000	
(1) 低所得世帯援護	低所得世帯児童の小中学校入学時祝金支給(生計)	2,120,000	1,560,000	560,000	小中@20,000円×78人=1,560,000円
	低所得世帯児童の小中学校入学時被服購入費助成(生計)	1,925,000	1,455,000	470,000	小男女@10,000円×24件=240,000円 中男@20,000円×27件=540,000円 中女@25,000円×27件=675,000円
4 その他福祉施策の充実を図るための活動経費及び助成事業		1,600,000	1,488,520	111,480	
(1) 地域作業所育成	自動車購入費助成	800,000	800,000	0	NPO法人ありんこ ありんこの会
	施設改修費助成	700,000	588,520	111,480	NPO法人 妻の家作業所
(2) 点字図書購入費助成	視覚障がい者(1~2級)の点字図書購入に対する助成	100,000	100,000	0	限度1人30,000円 10件
5 基金管理委員会が必要と認める事業		1,000,000	718,337	281,663	
(1) 福祉電話料助成	ひとり暮らし高齢者福祉電話料助成	900,000	688,337	211,663	親機1台 年度未加入者28人(延33人)
(2) その他の福祉事業	必要に応じ支出する経費	100,000	30,000	70,000	特別事業補助 NPO法人神奈川県視覚障害者福祉協会
合計		18,270,000	16,309,212	1,960,788	

2. 年末たすけあい配分事業一覧表

平成21年度配分結果

区分	配分内容	件数	金額(円)	
要援護世帯等	生計困難世帯に年末慰問金を配布 (1人世帯 5,000円 2人以上世帯 8,000円)	557世帯	4,252,000	
	一般遺児激励金 18歳以下の遺児に激励金(1名10,000円)を配付	児童数103人	1,030,000	
	修学旅行支度費(小学生5,000円 中学生10,000円)	93人(小学生43人 /中学生50人)	715,000	
	小 計			5,997,000
地域作業所等	地域作業所の事業運営に対して配分 1か所あたり 140,000円	26作業所	3,640,000	
	障がい者グループホーム・ケアホームの事業運営等に配分 1か所あたり 90,000円	8か所	717,600	
	障がい児デイサービスありんこくらの事業運営等に配分 1か所あたり 50,000円	1か所	50,000	
	小 計			4,407,600
社会福祉団体等	地区社協活動事業 地区社協に地区ふれあい広場事業費(3世代交流事業) として配分 1地区あたり90,000円×23地区=2,070,000円 サロン開催事業費(13地区)216,000円	23地区社協	2,286,000	
	要援護者実態把握活動事業 平塚市民生委員児童委員協議会へ事業費として配分	1か所	1,550,000	
	在住外国人共生事業 横内プロジェクトへ事業費として配分	1か所	200,000	
	福祉団体等へ補助金として配分 平塚市自治会連絡協議会 350,000 社会を明るくする運動実行委員会 180,000 平塚市母子福祉なでしこ会 45,000 平塚市老人クラブ連合会 90,000 福祉当事者団体 36,000×13	17団体	1,133,000	
	小 計			5,169,000
	事務費			735,878
	合 計			16,309,478